

平成29年度社会福祉法人朝日町社会福祉協議会事業計画

1 基本方針

超高齢化・少子化及び核家族化の進展に伴い、地域社会や家族のあり方が大きく変化し、高齢者世帯の増加、老老介護問題、社会的孤立、虐待、いじめ、生活困窮、認知症高齢者の増加など、個人や家族の努力、公的な制度に基づくこれまでの福祉制度の枠組みでは対応することが難しい新たな福祉課題が顕在化・多様化しています。

平成28年度に社会福祉法が改正され、社会福祉協議会においては、地域の生活課題を把握し、関係機関との連携等による解決を図るよう留意する責務のほか、組織・事業体制の見直しが求められており、今後どのような活動していくかが課題となっております。一方、国においては「生活困窮者自立支援制度」や「介護保険制度」の見直しが進められるなど「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりのあり方が検討されているところであります。

朝日町社会福祉協議会といたしましては、一人暮らし高齢者、老老介護問題、社会的孤立、貧困などの状況をしっかり認識し、本会の基本理念である「誰もが笑顔で元気に暮らせるまちづくり」を基軸に据えつつ、平成28年度に実施しましたアンケート調査等を基に、地域福祉の一層の向上を目指し、行政、自治振興会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、福祉関係団体、ボランティア団体などと連携して地域福祉の推進に努めてまいります。

今年度の新たな事業といたしましては、現在実施しております各種の相談事業にプラスして、消費生活に関する相談事業を実施してまいります。

また、障害者の方々との一層の交流を図るため、障害者協会と連携しパークゴルフなどのスポーツ交流を行うほか、福祉に関する映画の上映なども行ってまいります。

2 事業計画

1 社協活動の周知と充実

(1) 広報啓発事業

- ① 広報あさひ「ふくしの窓」の掲載
- ② ケーブルテレビ等の活用による福祉・ボランティア活動の広報啓発
- ③ ホームページの充実

(2) 福祉活動推進事業

- ① 福祉団体への活動支援・助成
- (3) 福祉大会の開催
- (4) 役職員の研修

2 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉活動事業

- ①地区社会福祉協議会の充実
- ②積極的な出前福祉講座の開催
- ③地域総合福祉推進事業（ケアネット型）の推進
- ④日常生活自立支援事業の推進・充実
- ⑤子育て支援事業の充実
- ⑥《新》障害者との交流事業の開催
- ⑦《新》福祉に関する映画の上映会

(2) 介護予防事業

- ①ふれあい・いきいきサロンの推進
- ②外出支援サービス事業の充実

(3) 福祉総合相談事業

- ①福祉総合相談所の開設
- ②生活困窮者自立支援相談所の開設
- ③《新》消費生活相談事業の実施
- ④暮らしに役立つセミナーなどの開催

3 在宅福祉活動の推進

(1) 地域見守り支援事業

- ①《拡》支え合いマップづくりの推進
- ②一人暮らし高齢者及び高齢者世帯への支援
- ③地域ふれあい交流会の実施

(2) 福祉機器の貸出し事業の実施

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア情報紙「ハートフル通信」の発行

(2) 朝日町ボランティアフェスティバルの開催

(3) ボランティア入門講座の開催

(4) ボランティアグループの育成・支援

(5) ボランティアサポーターの設置

(6) ボランティア保険の加入促進

(7) 登録、斡旋、相談事業の推進

(8) ボランティア活動推進校の活動支援（小・中・高）

(9) 災害救援ボランティアセンターの体制整備

(10) 福祉教育の推進

(11) ボランティアセンター運営委員会の充実

5 生活福祉資金貸付事業

- 6 民生委員児童委員協議会との相互協力
- 7 福祉募金活動の推進
 - (1) 善意銀行業務への協力
 - (2) 共同募金運動への協力
 - (3) 日本赤十字社朝日町分区業務への協力
- 8 その他